

様式第1号（第7条関係）

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和2年12月24日

和泉市長 あて

団体名 上代町盆踊り実行委員会

代表者名 会長 比良 泰弘

所在地

電話番号

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	令和3年度 上代町盆踊り大会
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	_____ 1,171,000円 (うち、対象経費 _____ 342,000円)
支援金 交付申請額	_____ 171,000円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい) ・ いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	ウエダイチョウボンオドリジッコウインカイ		
団体名	上代町盆踊り実行委員会		
団体の目的	子供から老人までの住民同士の交流の機会を構築し、地域コミュニティの活性及び地域の絆を深めることを目指します。		
市内事務所の所在地	電 話		FAX
フリガナ	ヒラ ヤスヒロ		
代表者氏名	比良 泰弘		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名)※	電 話	
	マスダ ヒサノリ 増田 久典	FAX	
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設 立 年 月	平成25年1月	主な活動地域	和泉市上代町他
会報等の発行	有 (回発行) ・ 無	会員数	100人
メールアドレス	@		
ホームページ	http://		
主な事業内容	上代町ふれあい広場中央に櫓を設置し、その櫓周りに夜店・各種団体の休憩用テントを設営して音頭取りの音頭のもと婦人会を主に地域住民と近隣地域住民が踊り手となり子供から老人まで住民同士の交流の機会を構築しコミュニティの活性化を計ります。		
主な活動の実績	昭和 55 年頃から青年団主催で小規模ながら毎年開催され、平成 25 年度から青年団に代わり上代町盆踊り実行委員会の主催で本盆踊り大会を運営して現在に至ります。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額 (円)
	H30	ちよいず	156,500円
	R1		156,500円
	R2		0円(コロナにより中止)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	令和3年度 上代町盆踊り大会
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 地域は住民の転入、転出等で少子高齢化が進み地域住民相互の繋がりや支え合いが弱くなってきており社会問題の一つとなっております。 その問題解消の一策として住民同士の交流の機会を作り、地域の絆を深めることを目的に盆踊り大会というイベントを開催したいと思います。	
②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 各種団体や子供から老人まで老若男女問わず共に参加・交流することにより地域住民の絆を深め、転出された地元 2 世・3 世のお盆帰省をも促し近隣地域のコミュニティの活性化に寄与します。 また、世代間交流促進により平素からお互い顔見知りとなる事で挨拶が生まれ、子供への声かけによりいじめや非行の防止または老人への気配りの発端にもなりえます。	
4 事業内容（※別紙添付可）	
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 各種団体による多数の夜店出店や櫓での演奏等を行い、近隣校区の住民が集い、こどもから老人まですべての世代が交流する祭りを開催します。上代町ふれあい広場という限定された会場内で本大会を開催するため、櫓周りでの多数の踊り子さん及び夜店の客等会場内参加者の誘導並びに整理に努めます。 また、一部会場内に臨時駐輪場・駐車場も併設されるため、青年団による車両の誘導等、大会会場内への人の動線を確認し、円滑に盆踊り大会を運営するための準備を行います。	
②実施期間（日時）	令和3年8月8日 午後7時から午後11時
③実施場所	上代町ふれあい広場
④主な対象者	鶴山台北校区・信太校区・幸校区の和泉市民及び近隣の住民
⑤参加予定者数	400人
⑥告知方法	和泉市広報・町内会回覧板・掲示板 信太連合会議等で参加依頼

5 事業スケジュール	
時期	内容
4～7月	企画、運営会議 信太連合会議等で参加依頼要請
8月	櫓組み立て、会場設営 盆踊り大会運営
9月	櫓解体、後片付け 反省会議
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 (実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)	
① 公益性	皆で盆踊りを体験しながら世代間のコミュニケーションがとれるイベントであり、今の社会問題でもある地域住民同士の繋がりの脆弱さに対して効果がある事業と考えています。上代町内、鶴山台北校区に限定することなく信太校区・幸校区等も含め、子供から老人まで老若男女問わず各地域の和泉市民が来場され、毎年多数参加して頂いている実績があります。
② 継続性	昭和55年ごろより現在まで40年以上の長きにわたり継続開催されています。大会に参加していただく事で、世代を超えた住民同士が顔見知りとなり日常生活において互いに挨拶が生まれ、子供への声掛けによりいじめや非行の防止 老人への気配り等、住民同士の絆の強化に波及していきます。御花等のご寄付金により事業収入として苦しいながらも財源は確保してきています。
③ 実行性	当実行委員会は3役員をはじめ12名の役員と総勢約100名の会員を有して運営されており、大会当日に向けて会議を重ね、準備しております。婦人会やコスモス会等の団体とも連携体制がとれている。
④ 協働性	今の社会問題でもある地域住民同士の繋がりの脆弱さをこの大会に参加していただく事で、世代を超えた住民同士の交流が生まれる。踊り手の主として婦人会の他、有志でコスモス会も作られ各団体と連携しながら、老人子供の世代間交流も生まれ賑やかに開催されています。
⑤ 公開性	和泉市広報・町内会回覧板・掲示板に開催通知と参加依頼の広告をし、信太連合様の方にも通知と参加依頼をさせていただいています。
⑥ 発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	音頭取りの音頭のもと櫓の周りを踊り手が踊る昔ながらの盆踊りを開催しているので人によっては懐かしくもあり、子供たちも含め皆が踊りを体験する事の出来る魅力ある事業であります。①でも記載したとおり、子供から老人まで老若男女問わず様々な地域の和泉市民が来場され、毎年400名以上の参加を頂いている実績もあります。

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： 令和3年度 上代町盆踊り大会

1. 【収入】

（単位：円）

項目	金額	積算根拠
支援金	171,000円	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	1,000,000円	御花寄付金
合計	1,171,000円	

2. 【支出】

（単位：円）

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	150,000円	音頭取り御礼
消耗品費	77,000円	プリンターインク、ラミネートフィルム 氷、団扇
食料費	15,000円	スタッフ作業時飲料代（75人）
委託料	100,000円	電気工事一式
報償費（対象外）	20,000円	婦人会御礼
食料費（対象外）	255,000円	ビール、焼酎、ジュース、お茶
使用料及び賃借料 （対象外）	120,000円	倉庫として利用したガレージ
消耗品費 （対象外）	434,000円	当てものの景品、アイスクリン、出店運営 費用
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合計	1,171,000円	
対象経費	342,000円	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。
 ※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。